



## 指導の様子

### 学習支援員

今年は、12月初旬から1月下旬にかけて5・6年生の調理実習を行う予定です。子供たちと、事前に役割を分担し手順をお互いに確認して苦手なところも補えるように協力しています。5年生は、初めての調理実習を楽しみにしている反面少し不安に思う子もいてそれぞれ一生懸命事前準備を進めています。6年生は、5年生の頃を思い出しながら主食と汁物を調理する予定です。自分たちで、一から調理することを心から楽しみ美味しく味わうことができるように指導していきます。子供たちから「楽しかった!」「美味しくできた!」の言葉を聞けるように頑張ります。年度終わりに、子供たちに「家庭科楽しかった!」と思ってもらえるように努めてまいります。

## 子供主体の運動会

校長 本間 基史

この原稿は運動会実施前に書いています。本年度の運動会は11月1日に開催します。津久戸小学校の不思議として運動会で白組が9年連続で優勝しているということがあります。

もちろん、毎年、赤白のチーム分けは走力等考えて同じくらいになるようにしているのですが、なぜか白組の勝利が続いています。そこで本年度は運動会委員会で考え、はじめのチーム分けはAチーム、Bチームとして分けました。全校朝会でBOXの中に赤白の玉を入れておき、Aチームとして校長が取り出した玉の色がAチームの色、2番目の玉がBチームの色としました。結果、Aチームが赤、Bチームが白となりました。抽選を終えた後にBチーム白組の6年生児童が数人で私のところに駆け寄り、文句を言われるのかと思いきや「校長先生、私達は赤組がよかったんです。白組が勝っているというジンクスを私達の頑張りで覆してやろうと思っていたのに!」なんて逞しくて前向きな心意気でしょう。ジンクスなんかは左右されないで、自分たちの努力で勝利するんだという6年生の力強い言葉が、とても嬉しかったです。高学年全員リレーの練習では、バトンの受け渡し、走る順番など、自分たちで考え、試し、決めて、主体的に練習しています。励まし合う声かけも見事でした。午前中開催となった運動会について、いろいろご意見もあるかとは思いますが、私達も校内で協議を重ね、紅白分けの方法も一例ですが、気候や学習のバランスや児童の発達段階を考え、全校が一丸となる行事の取組を考えました。応援団の希望者が多く、その思いを大切に応援団の定員も増やしました。子供たちの考えた運動会のテーマは「絶やさず 燃え繋げ ツクド Show!」です。さあ結果はどうだったでしょうか?運動会へのPTAの皆様のご協力に感謝申し上げます。

## ふれあい月間・「いじめ」について

### 生活指導主任

11月は「ふれあい月間」です。「ふれあい月間」とは、学校がいじめ等の問題行動の状況について総点検を行い、その未然防止や早期発見、早期対応につながる具体的な取り組みを行うことを目的としています。「いじめ」の定義は法で以下のように規定されています。

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。「いじめ防止対策推進法第2条」

嫌だなど感じる行為、言葉は、一人一人異なります。そのため、自分がされて平気なことも、実は他の人にとってはストレスになっていることがあります。「相手がどう感じるか」を我々教員も大切に、いじめの未然防止や早期発見に努めてまいります。

ふれあい月間中、全児童対象にアンケート調査を実施し、児童の様子を把握に生かします。学校からご家庭にご相談させていただくこともございます。学校と家庭で連携を取りながら指導に当たっていきたくと思っています。今後ご理解・ご協力をお願いいたします。